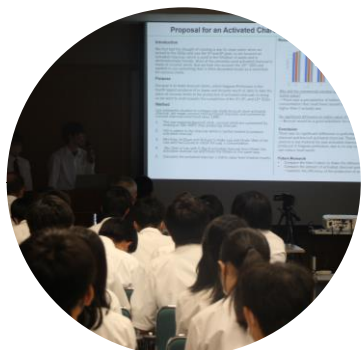


SSH

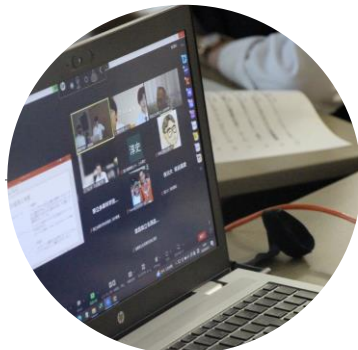
課題研究発表会

SSH課題研究発表会開催

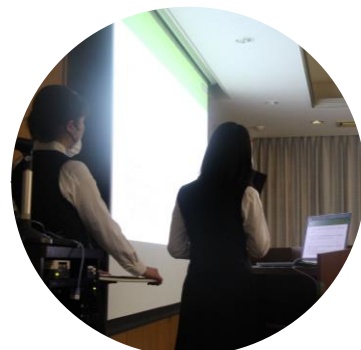
6月21日(水)本校百周年記念館1階大会議室にてSSH課題研究発表会が行われました。3年生生理数科の生徒にとって校内で発表する最後の機会でした。2年生生理数科、1年生特色コース2クラス及び教職員、保護者、オンライン参加の大学や高校の先生方の前で緊張した面持ちながら懸命に発表をし、発表後の質疑応答に対しても真摯に答えていました。今回の様々な質問や指摘を参考に、さらにブラッシュアップして夏休みに行われるSSH生徒研究発表会(全国大会)や中四国九州課題研究発表会、香川県高校生科学研究発表会等に参加する予定です。大学の先生方からは鋭い質問を受ける場面もありましたが概ね好評で、特に英語に対する取り組みについてはお褒めの言葉をいただきました。会場の2年生や1年生からも質問が出て、あっという間の3時間でした。発表タイトルはSSH通信Vol.1に掲載してありますので参考にしてください。



英語によるプレゼンに挑戦



対面とオンラインのハイブリッド



発表中は緊張の連続

「将来に向けたキャリア形成と『考える基礎』となる課題研究の在り方」

SSH

講演会

6月8日(木)2,3校時、1年生に対して東北大学大学院教授 渡辺正夫先生による「将来に向けたキャリア形成と『考える基礎』となる課題研究の在り方」という演題で講演会が開催されました。オンライン開催では、ありますが、生徒への発問や問いかけ回答など、双方向の講演会となりました。今年も時間いっぱい、質問が出て渡辺先生は一つ一つに質問に熱意をもって真剣に回答してくださいました。

身近なコロナウイルスの話から、日ごろから疑問に目を向けるということの大切さを感じました。また、自分の得意不得意を見極め、何がしたいのかを考えるとこのキャリア形成について学びました。今回の講演で、より課題研究が楽しみになりました。日頃から自然の不思議に目を向けられるような、広い視野を持ちたいと思います。(生徒の感想)

夢がないのですがどうすればいいですか？

研究者になるうえで大切なことは何ですか？

生徒の質問